



Autonomic Nervous Analysis System

自律神経活動解析装置

MaP1060-SYS

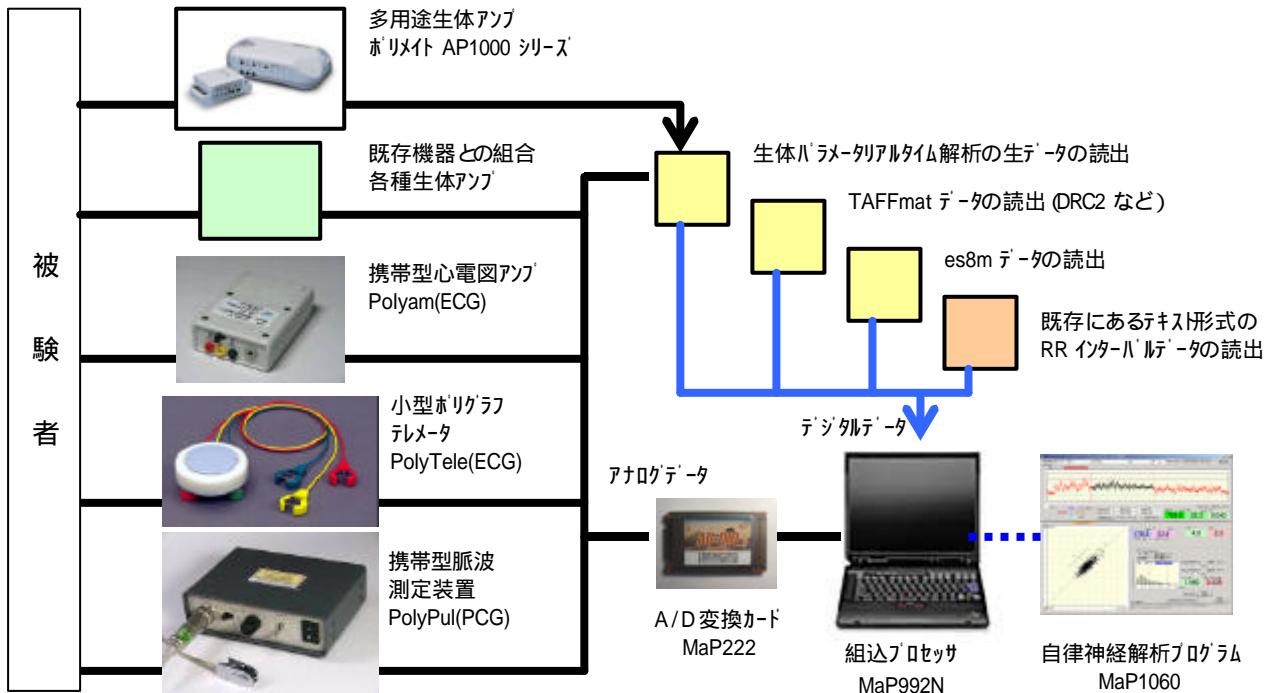
概要

心拍数(RR インターバル)の計測により自律神経の解析を行う装置です。心拍数の変化を計測するため、無線式心電図アンプや耳朶用の脈波センサとノート型プロセッサを組み込み、心電図波形データの収録から心周期(R波)の自動検出、検出点の確認と修正、RR インターバルの平均、標準偏差、変動係数、RR インターバルトレンドの周波数分析から低周波成分と高周波成分の抽出が行えます。更にRR インターバルによるローレンツプロットからノイズに強く、より短時間のデータで解析でき、視覚的に観察でき、交感神経と副交感神経を独立して解析できる、という特徴を持つ交感神経と迷走神経(副交感神経)の指標(CSI,CVI)が得られます。お手持のRR インターバル収録装置 MaP1060FRU や心電図マルチ収集プログラム MaP1141 で収録したのデータをはじめ、既存の心拍変動データもテキストデータとして入力し解析できるようになっています。既存の生体計測機器や各ユニットの組み合わせで目的に応じたコストパフォーマンスの高いシステム構成が可能です。医学分野だけでなく心理生理学や人間工学分野などの現場で高機能でありながら手軽にご利用いただけるシステムです。

仕様

システム構成に示す各ユニットの仕様をご覧ください。

システム構成



改善のため仕様変更することがございます。
 研究用機器のため薬事未承認です。臨床検査にはご利用できません。

